

決 算 報 告 書

平成24年度 決算報告書

国立大学法人広島大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	26,787	28,021	1,234	(注1)
施設整備費補助金	1,849	1,846	△ 3	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,131	1,741	610	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	110	125	15	(注4)
自己収入	34,313	35,952	1,639	
授業料、入学料及び検定料収入	8,755	8,599	△ 156	(注5)
附属病院収入	25,054	26,787	1,733	(注6)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	504	566	62	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,106	4,767	△ 339	(注8)
引当金取崩	342	404	62	(注9)
長期借入金収入	3,069	3,069	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	120	68	△ 52	(注10)
計	72,827	75,993	3,166	
支出				
業務費	59,898	57,677	△ 2,221	(注11)
教育研究経費	36,421	33,565	△ 2,856	
診療経費	23,477	24,112	635	
施設整備費	5,028	5,040	12	(注12)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,131	1,755	624	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,106	4,615	△ 491	(注14)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,664	1,612	△ 52	(注15)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	72,827	70,699	△ 2,128	
収入 - 支出	-	5,294	5,294	

○ 予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金の決算額には、前年度からの繰越金を計上したことにより、予算額に比して1,234百万円多額となっています。
- (注 2) 施設整備費補助金は、一般競争入札の結果による減により、予算額に比して決算額が3百万円少額となっています。
- (注 3) 補助金は、国からの補助事業獲得など応募申請に努めたことにより、予算額に比して決算額が610百万円多額となっています。
- (注 4) 国立大学財務・経営センター施設費交付金は、交付額の増により、予算額に比して決算額が15百万円多額となっています。
- (注 5) 授業料、入学料及び検定料収入については、学士及び大学院課程に係る授業料が減少したこと等により、予算額に比して決算額が156百万円少額となっています。
- (注 6) 附属病院収入については、新規加算の算定開始、診療報酬改定およびDPC医療機関別係数向上に伴う診療単価の上昇及び外来患者数の増等により、予算額に比して決算額が1,733百万円多額となっています。
- (注 7) 雑収入については、主として特許権実施料収入及び学内機器の利用料収入等の増により、予算額に比して決算額が63百万円多額となっています。
- (注 8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究の獲得及び寄附金受入額の減により、予算額に比して決算額が339百万円少額となっています。
- (注 9) 引当金取崩については、予算段階の見込より多く取り崩しを行ったため、予算額に比して決算額が62百万円多額となっています。
- (注10) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた計画の変更により、予算額に比して決算額が52百万円少額となっています。
- (注11) 業務費については、診療費用請求額の増加に連動した診療経費増、診療に必要な医療機器整備による診療費用増の一方で、給与削減による影響等によって予算額に比して決算額が2,221百万円少額となっています。
- (注12) (注 2)及び(注 4)に示した理由により、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注13) (注 3)に示した理由により、予算額に比して決算額が624百万円多額となっています。
- (注14) (注 8)に示した理由により、予算額に比して決算額が491百万円少額となっています。
- (注15) 長期借入金償還金については、予算段階では把握できなかった借入利率の確定により、予算額に比して決算額が52百万円少額となっています。